

市の名称「大田市」に決定！

新生「大田市」が誕生し、早や2年が経過いたしました。これまで、市民の皆様をはじめ、多くの皆様のご理解ご協力により、厳しい中にも順調に大田市政運営を図ることができたと思っております。

また、この間には、悲願でありました石見銀山遺跡が、ユネスコの世界遺産として登録されました。

さて、市の名称につきましては、合併協定におきまして、「新市の名称は、新生『大田市』とする。なお、石見銀山遺跡の世界遺産登録時に、『石見銀山市』の是非について検討する。」という内容で確認されていきました。

私は、この名称問題につきましては、なるべく早く結論を出さなければならぬと考え、市議会に、「石見銀山市の是非等」について検討をお願いいたしました。

市議会では、6回にわたる審議が行われ、「現行の『大田市』を継続」という意見具申をいただいたところであります。



私いたしましたしましては、市議会からの意見具申を尊重し、また、市民をはじめとする皆様のご意見も、現行のままが大多数であったこと等を踏まえまして「大田市」を変えざるべきではないと決定するに至りました。

この度の市の名称問題を契機として、市民の皆様の「ふるさと大田」に対する熱い思いをお聞かせいただきながら、大田市総合計画に掲げる「自然・歴史・ひとが光り輝く、誰もが住みよい 県央の中核都市」の実現に向け、全身全霊を傾けなければならぬと決意も新たにいたしました。

今後とも、皆様方のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

大田市長 竹腰創一

新成人に突撃インタビュー



左：平田 誠まこと（温泉津町出身 / 広島県在住）
右：立小川 堅けん（温泉津町出身 / 岡山県在住）

突然ですが・・・
「どがなかな、大田市は？」

1月4日、大田市民会館において、成人式が開催されました。今年の大田市成人式の対象者は、昭和62年4月2日から昭和63年4月1日までに生まれた540人。そのうち約450人が参加しました。

当日、会場に一番乗りしたのは、温泉津町出身の、平田誠さん、立小川堅さん。

大田市への思いと、新成人になった感想を聞いてみました。



成人式の後、青空の下で再会を喜ぶ輪があちらこちらに

Q：将来、大田市に帰ってくる？

A：大田市かどうかは分からないけど、島根県には帰ってくる！

Q：大田市のどこが好き？

A：自然が沢山あるところ。暮らしやすい。人のつながりがあるところ。

Q：二十歳になって思うことは？

A：あまりかわらないけど、ここ（成人式）に来て大人になれるかな（笑）。

Q：これからの夢は？

A：（平田さん）世界制覇の旅！まずは日本一周！（立小川さん）運転免許を取得するぞ！